

回	テ ー マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第 1 回	住民基本台帳ネットワークシステムについて (市民経済局区政課)	市民の皆様の住民基本台帳ネットワークシステムに対する意見をお伺いし、今後の施策の参考とするもの。	<p>【検討・参考】</p> <p>今回のアンケートの結果、本市が住民基本台帳ネットワークシステムに接続していることについては、賛成の意見の方（34.7%）が反対の意見の方（17.6%）より多いことがわかりました。その一方で、住民票コードや住民基本台帳カードについてよく知らないという方が多いこともわかりました。この結果を踏まえて、住民基本台帳ネットワークシステムや住民基本台帳カードの仕組みや意義などの周知を図るよう国に働きかけていくとともに、本市といたしましても市民のみなさまの理解が高まるよう取り組んで参ります。</p>
	なごやの生物多様性について (環境局 生物多様性企画室)	市民の皆さんの自然とのふれあい方や生物多様性を感じる場所などについてお尋ねし、今後の取り組みの参考とするもの。	<p>【施策への実現・計画への反映】</p> <p>アンケート結果を踏まえ、多様な生き物が生息する身近な自然名所を紹介する「ナゴヤ自然の名所いいトコガイド BOOK」を作成し、市民に向けて情報発信しています。</p>
	インターネットを活用した行政サービスについて (総務局情報化推進課)	インターネットの利用状況や情報化社会に対する考え方をお聞きし、今後の施策を進めるうえでの参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <p>今回の調査で、昨年度から引き続き「地域に関する情報を知る手段」として、「地域の回覧板や配布物」が 67.3%と最も多いという結果になりました。</p> <p>このことから、地域の回覧板や配布物には、必要とされている地域の情報が凝縮されていると考え、そういった情報をより広く発信できるよう、平成 20 年度に引き続き「コミュニティ活動における IT の活用支援」事業において、市民ニーズにあった地域の情報発信をブログで行えるように支援を行いました。</p>

回	テ ー マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第 2 回	自転車の使い方について (総務局交通政策室)	市民のみなさまに自転車の使い方や、歩行者や車のドライバーからみた自転車の存在などをおたずねし、今後の施策の参考にするもの。	<p>【実現・反映予定】</p> <p>自転車の利用実態や他の交通手段（歩行者や自動車）からみた自転車の存在について把握することができました。</p> <p>また、同様な趣旨により市民大討論会をワークショップとパネルディスカッションの2部構成で開催し、参加者のみなさんから自転車について思うことをたくさんいただきました。</p> <p>今後は、これらの結果を踏まえながら、歩行者の安全を考えるとともに自転車の利用しやすい環境づくりについて検討してまいります。検討にあたっては、行政だけではなくなかなまとまらないので、市民のみなさまとともに考えていきたいと思っております。</p>
	家庭教育について (教育委員会生涯学習課)	市民のみなさまの家庭教育に対する意識や考え方を把握し、今後の事業運営のための参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <p>調査結果は、平成23年3月に策定した「教育振興基本計画」において、親子のふれあいと家庭の教育力の向上を支援するための施策に反映させました。</p> <p>また、「親学」に関するパンフレット等に調査結果を掲載し、「家庭教育」の啓発活動に活用しました。</p>
	地域委員会（仮称）の創設について (総務局 区役所改革等推進室)	地域委員会(仮称)は、本市における新しい住民自治の仕組みとなることから、市民の皆様のご意見や考え方などをおたずねし、今後の取り組みや検討を行うための参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <p>地域の範囲や委員の選任方法など地域委員会の仕組みについて、アンケート結果を踏まえ検討を進めました。平成22年1月には市内8つの地域で地域委員会のモデル実施を開始しました。</p>

回	テ ー マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第 3 回	名古屋のことばについて (市民経済局 文化振興室)	市民のみなさまの名古屋のことば(名古屋弁)の使用実態、イメージなどをおたずねし、今後の施策の方針を検討する上での基礎的なデータとして活用するもの。	<p>【検討・参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋弁に対する市民の皆さまの使用実態やイメージを把握することが出来ました。 ・22年1月に開催した「なごやかトーク」において、調査結果を発表し、アンケート結果に関しても話し合いを行いました。 今後「名古屋ことば」の事業などを実施する上での基礎データとして活用していきます。 <p>【施策の実現・計画への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は、市政アンケートにおいて、関心を持てる事業として回答の割合が一番高かった「主な名古屋のことばを紹介するパンフレット」=『名古屋ことば言始め』の作成を行いました。また、企業が制作した「名古屋弁(ことば)かるた」に特別協力をを行い、市民の皆さまにより関心を持ってもらえる様な事業の展開に努めました。
	地産地消について (緑政土木局 農業技術課)	農産物や「地産地消」について、市民のみなさまのお考えをおたずねし、今後の事業を進めるうえでの参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で開催されている朝市・青空市のことを知っているか尋ねたところ、「知らなかった」が53.8%と最も多い結果となりました。 ・平成21年度、食に関するイベントの中で、朝市・青空市の紹介を行いました。 今後も朝市・青空市の広報を含め、地産地消の推進を図ります。

回	テ ー マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第 4 回	生物多様性と COP10 について （環境局 生物多様性企画室）	市民の皆様の日常生活 における自然に対する 意識や生物多様性、 COP10 に関する認知度 をうかがい、今後、生 物多様性の保全と持続 可能な利用のために取 り組む施策の検討に役 立てるもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COP10 で名古屋市が発信したら良いメッセージは、「他の国と協力して取り組むことの大切さ」と考えた人は約 4 割でした。COP10 には 180 の国と地域、国連環境計画等関連する国際機関、先住民代表、市民団体等 1 万 3 千人以上が参加するとともに、COP10 会場に隣接して開催された「生物多様性交流フェア」には 11 万 8 千人を超える方々にお越しいただきました。 ・COP10 開催後の平成 22 年 11 月のアンケートの結果、「生物多様性」の言葉の認知度が約 9 割に向上したことから、COP10 の開催により、より多くの市民のみなさまに生物多様性という言葉により身近に感じていただけたことがわかりました。今後も COP10 の成果を継承し、生物多様性保全等にかかる普及啓発を行ってまいります。
	住宅・住まいに関する意識について （住宅都市局 住宅企画課）	環境にやさしい住まい づくりに対する、市民 の皆さんの意識や意向 などについて把握し、 今後の施策を進める上 での参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅の緑化、カーシェアリング、共同生ごみ処理機に関するアンケート結果より、「環境に優しい住まいづくり」や「環境負荷の小さいまちづくり」に向けた市民の意識、取組みの意向等を把握することが出来ました。これらも踏まえ、「名古屋市住生活基本計画」を平成 23 年 3 月に策定し、「地球環境に配慮した住まいをつなぐ」などの方向性に沿った住まい・まちづくりにおける施策展開をとりまとめました。
	食の実態と関心につ いて （健康福祉局 健康増進課）	「名古屋市食育推進計 画」の策定から 2 年が 経過し、現状の把握と 今後の食育の推進につ いての参考とするた め、市民のみなさまに ご意見をおたずねする もの。	<p>【実現・反映予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部委員による「名古屋市食育推進懇談会」にアンケート結果を資料として提出しました。 ・アンケートの結果、食育に関心を持っている市民は増加しており、「地産地消」「メタボリックシンドローム」といった言葉の認知度が大幅に伸びていることがわかりました。今回のアンケート結果を踏まえ、今後の食育推進施策を検討するための参考としていきたいと考えています。

市政アンケートにおける施策への反映状況（平成 21 年度実施分） 平成 23 年 3 月末現在

回	テ ー マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第 5 回	広報活動について (市長室広報課)	より効果的な広報を推進するため、今後の施策の参考にするもの。	【検討・参考】 今回のアンケート結果によって得られた効果測定などを踏まえ、よりわかりやすく、親しみやすい広報活動の参考にしたいと考えております。
	地球温暖化対策について (環境局地球温暖化対策室)	市民のみなさまの環境にやさしい生活（エコライフ）の実践状況や地球温暖化防止に対する考え方をおたずねし、今後の事業の展開を検討するための資料とするもの。	【実現・反映予定】 本市では、2050 年の将来に向けて、エネルギー消費の少ない都市構造やまちづくりの方向性を示した「低炭素都市 2050 なごや戦略」を策定いたしました（平成 21 年 11 月）。この戦略の中で提案する 3 つの生活像のうち、名古屋市として重点的に取り組むべき対策をお尋ねしたところ、最も多かったのは「身近な自然を享受できる『風水緑陰生活』」で 35.6% を占めました。 また、温暖化対策を推進するために市に求める取り組みでは、「自動車の利用を減らすための公共交通機関などの整備」「エコ活動への優遇措置の充実」等が高い割合を占めていることが分かりました。 これらの結果を参考にし、2020 年の中期目標に向けた「低炭素都市なごや戦略実行計画（仮称）」の中で具体的な施策の検討を行ってまいります。
	今後の区役所のあり方について (市民経済局区政課)	区役所について、市民の皆さまのご意見や考え方などをおたずねし、今後の取り組みの参考とするもの。	【施策の実現・計画への反映】 アンケート結果を踏まえ区役所改革を推進してまいります。 また、各区役所が「平成 23 年度区政運営方針」に定める取り組みを検討する際の参考としてまいります。

回	テ - マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第 6 回	名古屋開府 400 年祭 について (総務局企画調整室)	市民の皆さまの名古屋開府 400 年祭事業に対する認知度や関心をおたずねし、今後の事業展開の参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政アンケートの結果、「名古屋開府 400 年」の認知度が更に高まっていることが分かりました。一連の事業を通じて多くの市民の方に名古屋の生い立ちを知っていただく良いきっかけとなりました。 ・「煌きの光ファンタジア」に対するご意見・アイデアを踏まえ、名称を「NAGOYA アカリナイト」という名称にて事業を実施し、「灯り（あかり）」をテーマとした作品・コンテストに関心を寄せている方が多かったことを参考に、市民参加型の「灯りコンテスト」を実施しました。
	コミュニティサイクル「名チャリ」について (緑政土木局 道路建設課)	市民の皆さまに、名古屋駅、伏見、栄周辺の市中心部における自転車の利用やコミュニティサイクル導入についてのご意見をおたずねし、今後の施策の参考とするもの。	<p>【実現・反映予定】</p> <p>「名チャリ」のようなコミュニティサイクルを市中心部に導入することについて、「良いことだと思う」、「どちらかといえば良いことだと思う」と答えた人はあわせて 81.9%となり、非常に多くの方が導入に対して好意的であることが分かりました。</p> <p>平成 22 年度には、「有料」での社会実験を実施し、料金の設定や事業採算性等について、課題を把握することができました。</p> <p>今後も、引き続き、実用化に向けての課題の検証を進めてまいります。</p>
	名古屋市納税者憲章（仮称）について (財政局税制課)	市税について市民の皆さまが日ごろ感じていることやご意見等をおたずねし、「名古屋市納税者憲章（仮称）」の策定に向けて参考とするもの。	<p>【実現・反映予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果、市税に関する業務について、「市税の使いみちなどの情報提供」や「税制度のわかりやすい広報」などに、より力を入れたほうがよいと思われる方が多いことが分かりました。 ・名古屋市納税者憲章（仮称）につきましては、調査結果を参考として、さらに検討を進めてまいります。
	名古屋新世紀計画 2010 第 3 次実施計画の数値目標について (総務局企画課)	「名古屋新世紀計画 2010 第 3 次実施計画」において設定している数値目標のうち、市民の考えや状況を目標として掲げる項目について、平成 21 年度の現状を把握し、実施計画の進行管理の参考とするもの。	<p>【検討・参考】</p> <p>調査結果を踏まえ、名古屋新世紀計画 2010 第 3 次実施計画の進行管理の参考といたします。</p>

市政アンケートにおける施策への反映状況（平成21年度実施分） 平成23年3月末現在

回	テ ー マ	調 査 目 的	反 映 状 況
第7回	消費生活に関するト ラブルなどについて (市民経済局消費流通課)	消費者施策について、市民の皆さまのご意見をおたずねし、今後の啓発方法や方針等を検討する上での参考とするもの。	<p>【施策の実現・計画への反映】</p> <p>高齢者の消費者被害を防止するためにどのような対策が必要だと思うかおたずねしたところ、「民生委員やヘルパーなど的高齢者に接する機会のある人に高齢者被害の情報を提供する」、「周囲の人が見守り、高齢者の異変に気づき、行政機関に連絡する」の順となり、高齢者の周りの方々の身守りが高齢者を消費者被害から守ると考えている人が多いことが分かりました。</p> <p>平成20年1月から、区役所、区社会福祉協議会、地域包括支援センターなどへ、平成22年1月から市内の各スーパーマーケットなどの店舗や銀行へ、高齢者に接する機会が多い所や人たちに向けて、月1回を目途に「なごや見守り情報」を発行、配布し、高齢者の消費者被害防止に活用しています。</p> <p>今後もタイムリーに情報を提供し、配布先を広めていきます。</p> <p>また、啓発用ビデオを作成し、高齢者の消費者被害の特徴を紹介し、周囲の見守り活動の大切さについて情報提供しています。</p>
	名古屋の子ども の育成について (教育委員会企画経理課)	学校・家庭・地域が連携して、なごやの子どもを育てるために、市民の皆さまがどのように考えられているかを おたずねし、今後の施策推進・計画策定の参考とするもの。	<p>【検討・参考】</p> <p>調査結果を踏まえ、「なごやっ子教育推進計画」の効果測定・進行管理の参考としています。</p> <p>また、平成23年3月に「名古屋市教育振興基本計画」を策定する際に調査結果を活用しています。</p>
	路上禁煙の推進について (環境局作業課)	路上禁煙施策への認知度やマナー啓発についての考え方を おたずねし、今後の啓発方法を検討する上での参考とするもの。	<p>【検討・参考】</p> <p>今回の調査結果を、今後の路上禁煙地区や喫煙者の責務の啓発方法など、路上禁煙の推進施策を検討するための参考資料として活用していきたいと考えています。</p>

<反映状況区分について>

「施策の実現・計画への反映」...すでに施策へ反映したものがあ
る。または、作成した計画等に結果を反映した。

「実現・反映予定」.....まだ実現はしていないが、近い将来、施策や計画等への反映が見込まれるものがある、または、施策や計画の検討組織に資料提供し、検討の参考資料とした。

「検討・参考」.....当面、具体的な施策や計画等への反映予定はないが、将来的に反映を検討するものがある、あるいは施策の達成状況等を把握するうえでの参考資料とした。